

事業及び共創の成果及び課題等報告書（中間）

	内 容	
① 事業名	家庭教育のサポート「生きる力を身につける子どもの育成」	
② 事業費総額	¥463,450—	
③ 事業期間	平成30年4月1日から平成30年7月31日まで	
④ 事業及び共創の進捗状況	別紙1の通り計画通り実施できている (他回別活動報告)	
⑤ 自己評価	項目	評価
	① 計画通り実施できているか	◎
	② 参加者数, リピート率は満足できる値か	◎
	③ 市民のニーズに合致できているか	◎
	④ 事業費は適正か	○
	⑤ 事業継続のビジョンを維持しているか	◎
	⑥ (市・団体) それぞれの役割を果たせているか	○
<<評価のマーク>> ◎: よくできた ○: 概ねよくできた △: あまりできなかった ×: ほとんどできなかった	<<評価の理由>> 10回コースですべて埋まっているが途中からでも参加できないかとの問い合わせがある。 子どもたちは体調不良以外は必ず参加している。 募集校以外の方からも問い合わせがあった。 兄弟参加、高学年参加の問い合わせが多かった。	
⑥ 今後の事業展開について	・今年度事業を今後どのようにすすめていくか（変更点・改善点等） （4、5、6、7月と事業を進めてきて特に問題がなく現状を維持し今後も計画通り行う） ・次年度の共創のまちづくり事業継続の希望及び展開について （参加希望の定員があつという間に埋まり、入りたくても入れない児童がいた為次年度も継続したいが事業費が少なく厳しい面がある） ・共創のまちづくり事業終了後の展開について （夏休みに以前から行っていた体験型預かりへ、わくわくアフタースクールから参加者があつたなど活動参加への要望は多いので次の計画を考えている 1. 他校でのスタートプログラム 2. 高学年対象のプログラム 3. 1つの学校に限定し回数を多くし内容を充実させたより身につくプログラム ☆子どもや保護者のニーズにこたえる活動内容を提供していく	

担当課の意見	<ul style="list-style-type: none">・計画に基づき事業を進めるとともに、状況に応じ項目を追加して参加児童から好評を得ている。・第三回までほとんど欠席者がおらず、参加児童が毎回、活動を楽しみにしており、参加のニーズに合致した活動内容となっている。・様々な活動体験を児童が家庭に帰って保護者と話すだけでなく、連絡ノートで児童の様子を保護者に伝えることが家庭教育の支援につながっている。また、児童が活動体験を家庭でも実践するなど、参加児童の成長が伺える。
--------	--

別紙 1

H30 4/1~7/31 までの活動実施一覧

回	学校	実施日	参加人数	サポーター	活動内容
1	鉢形	5/9(水)	19/20 人	10	木工 巣箱作り 学習サポート 記録ノート記入 おやつ作り プリンにデコレーション
2	平井	5/1(水)	20/21 人	11	同上
3	鉢形	6/13(水)	20/20 人	10	木工 コマのステージ、イス作り 学習サポート 記録ノート記入 巣箱のペイント おやつ作り リッツサンド
4	平井	6/20(水)	21/21 人	9	同上
5	鉢形	7/11(水)	19/20 人	9	工作 ペットボトルキャップを利用したマグネットとコマ作り おやつ作り フレンチトースト 学習サポート 記録ノート記入
6	平井	7/18(水)	21/21 人	9	同上
	延べ人数		121 人	58 人	合計 179 人